



野尻哲史と考える！ 殖やした後の減らし方

**第14回
NISAのスイッチングと取り崩し**

2026年7月3日

合同会社フィンウェル研究所

代表 野尻哲史

資産活用に使いにくい新NISA

総額3000万円の有価証券

評価益
1200万円

NISAの投資元本
(非課税保有限度額)
1800万円

退職後にリスクを
落としたい

評価益分は課税口座で運用するか、
生活費に使うか

NISAの投資元本
(非課税保有限度額)
1800万円

NISA内で再投資
できるのは
1800万円のみ

運用ポートフォリオのサイズが3000万円から1800万円に下がる、または1200万円分だけ課税口座になる

ポートフォリオのリスクを落としたいだけなのに、取り崩しをしなければならない

注) あくまでイメージを理解するためのもので、将来を保証するものではありません。出所) 合同会社フィンウェル研究所

資産活用に使いにくい新NISA

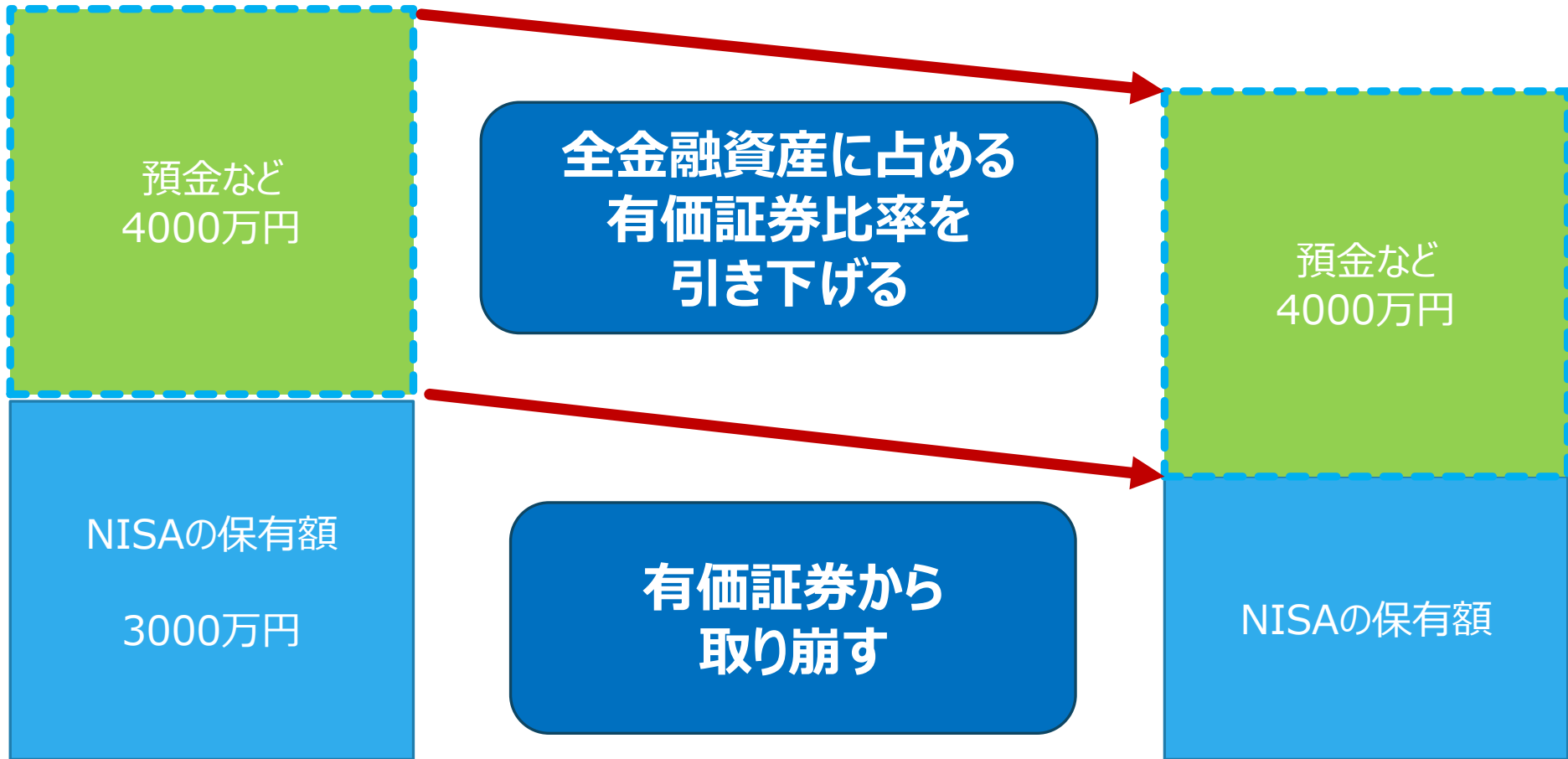
- ◆ 360万円分の枠を作るのに、600万円の売却が必要
- ◆ 1800万円の移管に5年かかる
- ◆ その間、元の資産のリスクは落とす方法がない

総額3000万円の有価証券



注) あくまでイメージを理解するためのもので、将来を保証するものではありません。出所) 合同会社フィンウェル研究所

NISAのリスク軽減策



注) あくまでイメージを理解するためのもので、将来を保証するものではありません。出所) 合同会社フィンウェル研究所

自己紹介

- 野尻哲史 合同会社フィンウェル研究所代表
HPは<https://www.finwell.co.jp>
無料メルマガ登録は<https://www.finwell.co.jp/mail-magazine/>
- 定年を機に、2019年5月に合同会社フィンウェル研究所を立ち上げ、代表に。資産の取り崩し、地方都市移住、雇用継続などの退職後の生活に関する提言を行っている。著書に『100歳まで残す 資産「使い切り」実践法』（日本経済新聞出版）、『60歳からの資産「使い切り」法』（日本経済新聞出版）、『100歳まで生きても資産を枯渇させない方法』（幻冬舎）など多数。
- 合同会社フィンウェル研究所は、「高齢者が安心して資産活用できる超高齢社会を目指す」ことを念頭にThought Leadership活動を行っている。



重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所